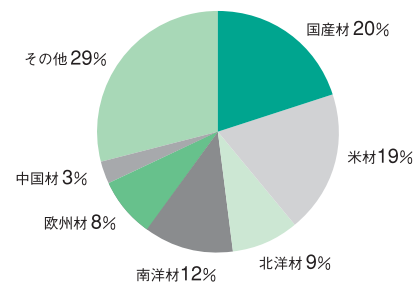


世界の森林が今、刻一刻と減少しているのを知っていますか？
森林を守るために、違法に伐採された木材を使用しないキャンペーンが始まっています。

日本の木材需要量 8,680万立方メートル（財務省「貿易統計」2006）



私たちは、紙や家具、住宅など、生活の中のあらゆるところで木材を利用しています。実は、日本は世界有数の木材輸入国。2006年には、8680万立方メートルの木材需要があり、そのうちの約80%の木材が、海外から輸入されました。もしかすると、私たちが日常的に使っている木材の中にも違法伐採の木材が含まれているかもしれません。世界の森林の問題は、私たちの生活に密接に関係しているのです。

Q3 日本はどのくらい木材を利用しているの？

違法伐採や、森林減少を食い止めるために、私たちにできることはあるのでしょうか？ 政府は、2001年から、国などの公的機関が、環境への負荷がより少ないものを選んで購入する「グリーン購入法」を施行しています。2006年からは、新たに違法伐採対策として、木材や木材製品については、「合法性」または「持続可能性」が証明されたものを購入しなければならぬ、という措置を導入しました。ただ、国などが購入する木材の市場シェアは、わずか約2%。政府だけが木材の購入を見直しても、その効果はあまり大きくありません。消費者である私たち一人ひとりが、紙や木材製品を購入する際に、「違法に伐採された木材は買わない、使わない」ことを目指すことが重要です。木材製品の合法性を確認するには、国際的な森林認証制度のロゴマークがついている商品を探すという方法があります。国際的な森林認証制度には、FSC、PEFC、日本独自のSGECなどがあり、これらのロゴ

Q4 私たちにできることってあるの？

マークは、適切に森林が管理されていることを第三者が認証していることを示しています。環境NGOによって、こうした持続可能な森林経営を支援する「フェアウッド・キャンペーン」が実施されています。皆さんも、自分が購入するというアクションを通して、世界の森を守るのに一役買ってみませんか？

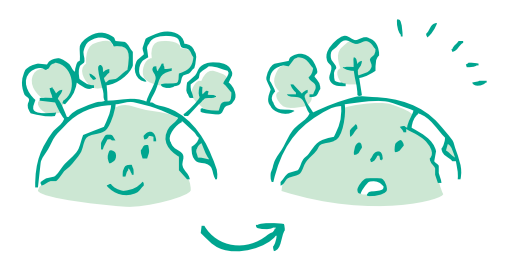
Q2 森林減少の原因は何？

ブラントーションなどの大規模な農地への転用や、燃料用の木材の過剰な伐採、持続的な利用を考えない焼畑農業の増加、森林火災……。森林減少の原因はさまざまですが、最も深刻なのが、違法伐採の問題です。違法伐採とは、それぞれの国や地域の法令に違反して森林を伐採すること。また、許可された伐採の量や方法を守らないものも当てはまります。インドネシアでは伐採量の約50%、ロシアでは約20%が違法だったという調査結果もあるほどです。違法伐採は、木材の生産国での持続可能な森林経営を阻害し、森林の減少や劣化をもたらします。さらに、木材の輸入国においても、正当なコストを払わない違法伐採木材が、流通価格を不当に押し下げてしまう、といった問題が生まれています。

Q1 世界の森林は、今どうなっているの？

世界の森林の総面積は、約39・5億ヘクタール。地球の陸地面積の約30・2%を占めています。しかし今、世界では、毎年731万7千ヘクタールの森林が減少し続けています。このスピードは、5年間で日本の総面積分に達するほどの早さです。特に、南アメリカ、アフリカ、東南アジアなどの熱帯の森林の減少面積が大きく、ブラジルやインドネシアなどでは豊かな熱帯林が急速に失われつつあります。

では、私たちにとって、なぜ森林は大切なのでしょう？ 森林は、光合成によってCO₂を吸収し、炭素を蓄積しています。森林が減少すると、その分、蓄積していたCO₂を排出してしまいます。2007年に発表された「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」の第4次報告書によると、世界の温室効果ガス排出量のうち、なんと約20%が、森林が農地などに転用されたことによるものだと指摘されているのです。森林は、生物の多様性を守るといった役割のほかに、温室効果ガスを吸収し、気候変動の影響を緩和するという大切な役割を果たしているのです。



イラストレーション/タニダリョーコ



フェアウッド・キャンペーン HP <http://www.fairwood.jp>
環境省 HP http://www.env.go.jp/earth/shinrin/index_1.html